

令和3年度 荇田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

コロナ禍の影響により、第4期地域福祉保健計画の策定年度が繰り越しになっている中で、荇田地区、新荇田地区ともに推進会議を中心に最終的な段階に入っている。両地区において、計画に沿った具体的な取組につながるように区、区社協、ケアプラザが一体となり支援を進めたい。
更に地域においては、活動や集う場の減少による、高齢者の心身機能の低下に伴う、相談数の増加が見られる。コロナ禍においても、感染予防に配慮した活動支援を行い、介護予防の推進をしつつ、早期に相談をして頂けるよう継続して、身近な相談窓口としての周知を行っていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区別地域福祉保健計画について、最終的な確認と取組の具体化に向けて、職員体制が変化しているが、内部で共有をし、またケアプラザ、区役所、区社協と役割分担をし、地域の思いに寄り添いながら推進をする。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	サロン担い手を対象にした講座の実施、交流会を行い、担い手同士の情報交換の場を提供する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケアプラザ(通所介護部門含む)と隣接する福祉ホーム、地区社協、地域住民と協力し、多世代交流と多様性の理解を深める場を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザ主催の講座を開催した際に併せて、ケアプラザの機能や地域の活動の周知により、新たな活動へのきっかけづくりをする。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	見守りグループと事例を共有しながら、日常的なつながりの大切さやゆるやかな見守りの必要性、つながりの継続を実感してもらう

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度においても、コロナウイルス感染症の影響が多大にある中、地福計画策定については区、区社協、CPの3者で連携し、最終的な確認までは進めることができました。またこの2年でほぼ止まっている地域活動を支援する為に、担い手向けの講座として感染症対策や体操講座を実施しました。それにより、活動再開や継続開催する上で、意味があるものになったと思われます。荇田地区においては、3か所の茶話会を再開する動きになっています。昨年度実施できなかった新たな事業として、「みんなの荇田ひろば」をプレ開催までは行いましたが、感染状況により限られた条件での開催となりました。しかし開催したことで、地域住民がポッチャに関心が高いことを実感し、今後、障害理解を進める為の新たな事業展開へつないでいく予定です。見守りグループを通しての地域支援については、自治会の方針に従い、積極的アプローチをしないできましたが、新たな視点から地域での支えあいについて検討できるよう方向転換をしました。

区からのコメント

・コロナ禍で工夫をして活動している団体とこれから活動再開を検討している団体が交流する機会を設けたことは、各団体にとっても有意義だったと思います。各サロン等に出向き、状況に応じて丁寧に支援していただいているため、スムーズに活動再開できる団体も多いと思います。
・8050世帯を代表とする複合的な課題を抱えた世帯が当該地域においても顕在化しており、地域での見守りが重要性を増す中で、要となる民生・児童委員へ当該課題の関心を高める取組を企画されていました。当該課題は多機関で連携して取り組むことが必要であることから、来年度以降も多機関との連携を意識した継続的な取組を期待します。
・介護予防講座を荇田コミュニティハウスで行う等、これまでケアプラザに来られなかった人にもアプローチできたことは効果的な取組だと思います。
・ひろばの中で住民の方々の関心を捉えて、タイムリーにポッチャ講座につなげられたのは良い取組だと思います。今後、地域の障害理解を進める事業展開につながることを期待します。

令和3年度荏田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公正・中立性確保については、複数の事業所から選択できるように一覧の提示の他、詳細な内容について、情報提供をします。また、職員会議等で事業者情報の提供方法について随時確認します。	事故・ヒヤリハットについては状況や発生に至った要因また対応状況を記録に残し、全職員で共有・検証のうえ再発防止に向けた取組を行います。 始業前及び終業前に職員ミーティングにて個人情報作業の確認、作業手順の確認や情報共有等を徹底し、事故防止に努めます。
実績	相談時において、事業所の紹介や選定が必要な時は、ハートページなどの一覧を利用して対応をしました。また毎月行われている各職種ミーティングにおいて、情報の提供方法を含め、情報共有を図っています。	事案が発生したら、速やかに関係した職員がヒヤリハット報告書を作成しています。また、始業・終業時のミーティングにおいて即日事故・ヒヤリハット事案を共有しています。事故防止対策等は各職種ミーティングで検証し、再発防止についての話し合いの時間を設けています。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ケアプランの中にインフォーマルな保険外サービスが組み込まれており、地域の特性を生かしながら「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするICFに基づく支援ができています。	利用者様ご家族様の思いに寄り添い、医療福祉に関する関係機関及び、地域の皆様と協力して在宅生活を支援してまいります。
職員体制	【常勤兼務】3名 【非常勤専従】1名	【常勤兼務】1名 【非常勤専従】3名
契約者数	130	153

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	(1)日常生活を意識した自立支援に取り組めます (2)心身ともに元気になれるプログラム充実を図ります		
実施体制	【実施日数】359日 【提供時間】10:15～15:20 【定員】30名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	食費¥800-(おやつ代含)		
職員体制	管理者1名(常勤兼務)、生活相談員5名(常勤兼務2名、非常勤兼務3名)、看護職員5名(非常勤兼務)、介護職員11名(常勤兼務2名、非常勤兼務9名)、機能訓練指導員5名(非常勤兼務5名)		
契約者数等	【延べ利用者数】5969名 【契約者数】69名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「荇田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,631,871		16,631,871	16,063,000	568,871	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	23,700	76,300	
雑入		0	0	6,268	△ 6,268	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	6,268	△ 6,268	
その他	4,400,169		4,400,169		4,400,169	
収入合計	21,132,040	0	21,132,040	16,092,968	5,039,072	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	11,077,695	235,305	
本俸	8,994,000		8,994,000	8,520,407	473,593	
社会保険料	874,000		874,000	1,026,103	△ 152,103	
手当計	1,130,000		1,130,000	1,434,579	△ 304,579	
健康診断費	10,000		10,000	7,495	2,505	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	298,000		298,000	81,742	216,258	
その他			0	619	△ 619	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	1,371,734	△ 13,734	
旅費	18,000		18,000	1,712	16,288	
消耗品費	600,000		600,000	122,924	477,076	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	
通信費	300,000		300,000	318,311	△ 18,311	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000	80,300	19,700	
図書購入費	50,000		50,000	38,268	11,732	
施設賠償責任保険	8,000		8,000	7,584	416	
職員等研修費	10,000		10,000	2,136	7,864	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	80,000		80,000	79,340	660	
手数料	20,000		20,000	690	19,310	
地域協力費	20,000		20,000	0	20,000	
その他	92,000		92,000	720,469	△ 628,469	
事業費	264,000	0	264,000	54,928	209,072	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	222,000		222,000	54,928	167,072	
その他			0		0	
管理費	3,400,000	0	3,400,000	2,630,531	769,469	
光熱水費	1,800,000		1,800,000	1,748,432	51,568	
清掃費	570,000		570,000	567,580	2,420	
機械警備費	97,000		97,000	97,096	△ 96	
設備保全費	633,000	0	633,000	217,423	415,577	
空調衛生設備保守	21,000		21,000	21,204	△ 204	
消防設備保守	20,000		20,000	20,971	△ 971	
電気設備保守	42,000		42,000	41,064	936	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	28,320	1,680	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	520,000		520,000	105,864	414,136	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000	253,208	220,792	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	3,418,000		3,418,000		3,418,000	
支出合計	21,132,040	0	21,132,040	15,388,096	5,743,944	
差引	0	0	0	704,872	△ 704,872	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	23,700	76,300	
自主事業費 支出	222,000	0	222,000	54,928	167,072	
自主事業 収支	△ 122,000	0	△ 122,000	△ 31,228	△ 90,772	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「荏田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,108,000		29,108,000	23,423,000	5,685,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	151,000		151,000	154,000	△ 3,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,789,000		5,789,000	5,802,000	△ 13,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000	2,500	2,032,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	29,381,500	7,701,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	25,741,341	6,947,659	
本俸	22,341,000		22,341,000	13,497,150	8,843,850	
社会保険料	2,500,000		2,500,000	3,354,927	△ 854,927	
手当計	6,350,000		6,350,000	7,634,379	△ 1,284,379	
健康診断費	35,000		35,000	26,762	8,238	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	26,250	3,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,433,000		1,433,000	1,201,873	231,127	
その他			0		0	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	746,059	556,941	
旅費			0	19,667	△ 19,667	
消耗品費	200,000		200,000	59,011	140,989	
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	250,000		250,000	323,575	△ 73,575	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	2,016	△ 2,016	
職員等研修費	10,000		10,000	21,262	△ 11,262	
振込手数料			0	0	0	
リース料	22,000		22,000	21,807	193	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	621,000		621,000	298,721	322,279	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	396,448	793,552	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	2,113	97,887	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	152,311	△ 1,311	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	32,024	276,976	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	867,000	0	867,000	679,250	187,750	
光熱水費	500,000		500,000	464,773	35,227	
清掃費	170,000		170,000	150,875	19,125	
機械警備費	26,000		26,000	5,810	20,190	
設備保全費	171,000	0	171,000	57,792	113,208	
空調衛生設備保守	6,000		6,000	5,636	364	
消防設備保守	6,000		6,000	5,574	426	
電気設備保守	11,000		11,000	10,915	85	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000	7,528	472	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	140,000		140,000	28,139	111,861	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000	67,305	58,695	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	908,000		908,000		908,000	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	27,630,403	9,452,597	
差引	0	0	0	1,751,097	△ 1,751,097	

自主事業費 収入	0	0	0	2,500	△ 2,500	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	186,448	373,552	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 183,948	△ 376,052	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 荏田地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7,314	8,178	-864	20,937	22,012	-1,075	64,030	54,305	9,725
	その他	0	0	0	0	0	0	25	88	-63
	事業・負担金収入			0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0	25	88	-63
	収入合計(A)	7,314	8,178	-864	20,937	22,012	-1,075	64,055	54,393	9,662
支出	人件費	3,047	3,045	2	14,328	11,956	2,372	44,414	42,334	2,080
	事務費	8	5	3	67	48	19	440	160	280
	事業費	23	2,223	-2,200	546	535	11	17,718	17,692	26
	管理費			0			0			0
	その他	2,488	2,209	279	24	0	24	347	39	308
	利用者負担軽減額			0			0		39	-39
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,488	2,209	279			0			0
				0			0			0
	その他			0	24		24	347		347
支出合計(B)	5,566	7,482	-1,916	14,965	12,539	2,426	62,919	60,225	2,694	
収支 (A) - (B)	1,748	696	1,052	5,972	9,473	-3,501	1,136	-5,832	6,968	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	エンジョイ荏田塾たけのこクラブ	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	生活支援体制整備事業における協議体及び荏田地区地福計画の分科会の位置づけ。「広報」「見守り」「ちよこっとボランティア」から派生した取り組みを行う。その他、地域課題を共有し、解決に向けて検討を行う。	5:地域		・定例会の開催(毎月第3土曜日) ・歴史講座の開催(月1回) ・高齢者向け「生活情報冊子」の改定作業 ・「荏田魅力マップ(仮)」を通じた、課題共有と解決に向けた検討	12	113
2	エンジョイ荏田塾たけのこクラブ「歴史講座」	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域に愛着を持つため、また、高齢男性の外出の場として定期的に歴史講座を開催している。定期的実施することで、参加者同士の繋がりがつくりも目指す。	5:地域		原則、毎月第2土曜日13:30～15:30で、外部講師を呼んで実施	12	229
3	荏田クリーンアップ作戦	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域活動に参加したことがない地域住民が気軽に地域活動に参加できるきっかけづくりのための事業。2回の事業の結果効果的であった場合、協議体の主催で定例化していく	5:地域		・ゴミ拾いおよびお疲れ様会の開催(6月、10月) ・定例化に向けて検討(11月以降)	1	18
4	ハンドメイドカフェ	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域ケアプラザに來館したことがない世代の來館するきっかけづくりとする。また、参加者同士が交流を持ち、地域活動に関心も持てるようにする。	5:地域		毎回、地域住民を講師として迎え、コーヒーを飲みながら、ハンドメイドの作業に取り組む。	2	2
5	茶話会	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域に住む高齢者のために、外出機会の創出とコミュニケーション不足の解消を目指した茶話会。地域のサポーターにも手伝ってもらっている。感染症対策にも留意し開催。	1:高齢者		・毎月第3金曜日13:30～14:45 ・サポーター6人(2022年3月31日現在) ・6月に地域の団体による体操講座、7月包括による講座を開催	12	256
6	えだびよ	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍において、居場所が少なくなっている子育て世代のための居場所となるようなフリースペース。子育て世代が地域に求める課題の発掘の場としても活用する。	4:子ども・青少年		・毎月第4金曜日 9:30～11:30開催 ・地区社協にボランティアを依頼	12	246
7	介護者のつどい	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	参加者に介護に関するさまざまなテーマについての知識や情報を得たり、日頃の思いを自由に気軽に語り合うことができることを目的として、実施します。	1:高齢者		年に4回実施。介護保険制度、認知症、施設、在宅医療についての講話を実施。	4	43
8	みんなの荏田ひろば	令和3年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	多世代交流と多様性の理解の場の広場。地域ケアプラザ(通所介護部門含む)だけではなく、隣接する福祉ホームや、地区社協や地域住民と連携し開催する。地域ケアプラザが主催し定例化していく。	5:地域		・アイディア会議開催(毎月第一金曜日) ・8月4日(水)にプレ実施 ・第一水曜日に定例化を検討(9月以降)	1	22
9	コグニサイズ体験会	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	おおむね65歳以上の地域住民を対象に介護予防を啓発する。また、体験会実施後、参加者によるコグニサイズのグループ自主化を目指す。	1:高齢者		講師の指導によるコグニサイズ体験講座。1～3月の各月1回の開催。	3	17
10	医療の専門家と学ぶ 楽しく続けて元氣なカラダへ 健康づくり講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が介護予防の基礎知識を学ぶ。高齢者の外出や運動の機会とする。	1:高齢者		・5月31日、6月14日、28日に実施。 ・理学療法士からのロコモ予防の体操、管理栄養士からの栄養改善、言語聴覚士の口腔機能向上についての講話と実技。 ・包括保健師より介護予防の講話。	3	43
11	荏田コミハと赤田東公園で健康づくり	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	CPIに遠いにくい地域の方にも参加してもらえるよう荏田コミハで開催し、高齢者の外出や活動の機会とする。体力測定を行い、運動への意識を高める。	1:高齢者		・9月～10月に実施。・荏田コミュニティハウス内と隣の公園を利用し、体力測定とハマトレを含む体操を実施する。 ・口腔機能向上と栄養改善、社会参加についての講話はコミハ館内で実施。	5	56
12	担い手支援講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	サロン等の担い手を対象に交流会と講座を開催。情報交換を行ったり、体操や感染予防について学び、サロン再開のきっかけや活動の活性化を図る。	5:地域		・6月～7月に実施。・担い手同士の交流会の実施。・体操、レクリエーションの講座。	3	35
13	荏田宿カフェ介護予防教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ボランティアメンバーの介護予防を目的とする。	1:高齢者		3か月に1回の定例会時に体操や介護予防の講話を実施。	7	37
14	エンディングノート講座(3回コース)	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	元氣なうちに備え、ご自身の口で伝えることができるうちに医療や介護のこと等について考えるきっかけをつくること目的にして、実施します。	1:高齢者		3回コースで、エンディングノートの説明を始め、「もしバナゲーム」、「成年後見制度等」今どきの葬儀事情」について実施予定。	3	37
15	あざみ野南4丁目サロン	平成28年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	ケアプラザまで足を運ぶことが困難な方を対象としたサロン。民生委員児童委員会長のお宅をお借りして開催を行う。コロナのため再開は出来ていないが、9月から再開にむけ検討を行う。	1:高齢者		・奇数月の第2水曜日、13:30～14:30開催 ・4月、ボランティアと共に今年度の内容を確認	1	8
16	団体交流会	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	団体Ⅰ、団体Ⅱの交流会を開催する。団体紹介冊子を改訂し、幅広く地域にどんな団体が登録しているかを情報発信し、地域の方の参加も募る。	5:地域		・5月に団体説明会を開催	0	0